

キャリア・パスポート（仮称）構想研究会開催要綱

1 趣旨

産業競争力会議「雇用・人材分科会」中間整理（平成25年12月26日）において、ジョブ・カードを、『「キャリア・パスポート（仮称）」として学生段階から職業生活を通じて活用できるものとすることや、企業及び働き手の双方にしっかり浸透する仕掛けとして、雇用保険二事業の助成金支給の必要条件とすること等、労使の理解を得つつ、抜本的に見直す』とともに、『電子化してネット上での共有を図り、円滑な労働移動につなげる等、外部労働市場の構築に資する方策を検討する』こと等とされている。

これを踏まえ、キャリア・パスポート（仮称）の仕様、活用方法等を検討・研究するため、「キャリア・パスポート構想研究会」（以下「研究会」という。）を開催する。

2 検討事項

- (1) キャリア・パスポート（仮称）活用のコンセプト及び具体的な活用方法に関すること。
- (2) キャリア・パスポート（仮称）の仕様に関すること。
- (3) キャリア・パスポート（仮称）情報の電子化・ネット上での共有に関すること。
- (4) その他キャリア・パスポート（仮称）に関すること。

3 運営

- (1) 研究会には座長を置き、研究会の運営を所掌する。
- (2) 研究会は、必要に応じて、関係者の出席を求めることができる。
- (3) 研究会には、オブザーバーとして関係府省が出席することができる。

キャリア・パスポート（仮称）構想研究会 構成員名簿

阿部 正浩	中央大学経済学部教授
五十嵐 敦	福島大学総合教育研究センター教授
◎今野 浩一郎	学習院大学経済学部経営学科教授
大久保 幸夫	(株) リクルートホールディングス専門役員・リクルートワークス研究所所長
小杉 礼子	(独) 労働政策研究・研修機構特任フェロー
小寺 亜美	(株) 日立製作所・キャリア・コンサルタント (人事教育総務センタキャリアサービス部長代理)
下村 英雄	(独) 労働政策研究・研修機構キャリア支援部門主任研究員
根岸 栄子	東京労働局職業安定部地方訓練受講者支援課長
藤村 伸治	(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター所長
松本 真作	(独) 労働政策研究・研修機構キャリア支援部門副統括研究員

◎は座長（五十音順、敬称略）

オブザーバー：関係府省

※必要に応じて、関係者へのヒアリングを行う

議事の公開について

研究会は、原則公開とする。ただし、以下に該当する場合であって、座長が非公開が妥当であると判断した場合には、非公開とする。

- 1 個人に関する情報を保護する必要がある。
- 2 特定の個人等にかかわる専門的事項を審議するため、公開すると外部からの圧力や干渉等の影響を受けること等により、率直な意見の交換又は意思決定の中立性が不当に損なわれるとともに、構成員の適切な選考が困難となるおそれがある。
- 3 公開することにより、市場に影響を及ぼすなど、国民の誤解や憶測を招き、不当に国民の間に混乱を生じさせるおそれがある。
- 4 公開することにより、特定の者に不当な利益を与え又は不利益を及ぼすおそれがある。